

高まる高齢化扶養率

上海市民政局と市老齡工作委员会弁公室、統計局が発表したデータによると、2017年12月31日時点で上海戸籍人口のうち60歳以上高齢者は483万6000人、前年比2万8100人(5.6%)増、上海戸籍総人口に占める高齢者人口の割合は前年比1.6ポイント増の33.2%に達したとのこと。

また、現地メディアによると、上海の60歳以上高齢者人口の前年比増加率は、過去3年間で(5.6%、5.0%、5.3%)となっており、都市部での高齢化が確実に進んでいると言っています。また、2017年の

上海の80歳以上の高齢者人口は、前年比9200人増の8万5800人、増加率は1.2ポイント上昇。高齢者人口全体に占める割合は同0.7ポイント低下し、総人口に占める割合はほぼ横ばいとなっています。これは80歳以上の高齢者人口の増加スピードが高齢者総人口の増加スピードより緩やかである状況を示しています。

上海の高齢者扶養比率は、再び過去最高記録を更新しました。15歳から59歳の労働人口が60歳以上の高齢者を支える扶養比率は、2017年に58.8%となり、前年比4.7ポイント上昇しまし

上海では60歳以上が33%

た。扶養比率全体については既に77.1%に達しています。つまり、15歳から59歳の1.29人では60歳以上または、0.14歳の1人を支えている計算となっています。

高齢者福祉

についてみると、上海全市には現在、高齢者施設が計703ヶ所、ベッドが14万400床あり、前年比5.7%増加しましたが、まだまだ十分とは言えません。

中国では古来より「百善孝為先」(百の善行の第一は親孝行から)という教えがあるほど、「親想」が重視されます。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。